

立劃定鬮分水田合約字人徐興仁興發興運興傳等式大房情因承祖父遺下先年所
舉鬮分有埔地水田壹處坐落土名石圍墻南興庄北片有蒸嘗埔地

水田壹段四至界址一切即日經眾叔姪面踏分明原帶大陂圳水通流灌溉當日席請
房族到場前來酌議平搭劃定勻作式大房均分憑鬮拈定各管各業其長房興仁、興運
兄弟鬮得東片埔地水田壹段東至大坎唇直透為界西至水圳為界南至賴家田為界
北至河為界四至界址一切即日經叔姪面踏分明係歸于長房興仁興運兄弟永遠管
業自此鬮分之後各從界址照鬮管業毋得爭長競短日後興等貳大房子孫永不敢異
言生端亦不敢另生枝節等弊並無反悔此乃平心氣和並無抑勒今欲有憑立劃定鬮
分合約字式紙各執壹紙付執永炤

即日批明其大租隘谷一切仍歸油房坑口老田份供納立批
又批明所有上手老字約一切日後執出不堪照用立批是實



欽四 (花押)

振文 (花押)

財文 (花押)

叔水桂 (花押)

在場見叔祖超壽 (花押)

國光 (花押)

傳福 (花押)

富貴榮昌

代筆人羅玉堂 (花押)

光緒己卯伍年拾月

日立劃定鬮分合約字人徐興

運 (花押)

仁 (花押)

發 (花押)

傳 (花押)